

2022.10.30. 万物の終わりが近づきました ペテロ第一 4 章 7～11 節

今日の聖書箇所は、「第一ペテロの手紙 4 章」7 節からです。先週は、6 節まで終えました。6 節の次は 7 節です。これは、おそらく、今日の説教全体の中で最も深いポイントだと思います。主の御心なら、11 節までを学びます。可能な方はご起立くださり、私が読むのに合わせて、ついてきてください。ご無理な方は、着席したままで結構です。使徒ペテロは、聖霊によって語ります。7 節の「7 つの言葉」です。

—I ペテロ 4:7—

万物の終わりが近づきました。...

...ですから、...はい、もうここで締めくくれますね。—(笑)—

...ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。

—I ペテロ 4:8—

何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。

—I ペテロ 4:9—

不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい。

—I ペテロ 4:10—

それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。

—I ペテロ 4:11—

語るのであれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕するのであれば、神が備えてくださる力によって、ふさわしく奉仕しなさい。すべてにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。この方に栄光と力が世々限りなくありますように。アーメン。

あ～これが締めと祈りです。以上でした。とても良いです。いえ、祈りましょう。

御父よ、本当に感謝します。お～主よ。どうか主よ、今、私たちの心と思いを静め、気が散るものを取り去って下さる必要があります。それができるのは、聖霊によってあなただけであられるのを私たちは知っています。私たちは、あなたに集中したいのですが、私たちの思いは迷いやすく、気が散りやすいのです。ですから主よ、あなただけが御出来になるようにまた、いつもご忠実であられるように、ただ...

あなただけが私たちの思いを集中させることが御出来になられます。一度そうなされたら、あなたが、今日与えられる御言葉が何であれ、あなたの御言葉に集中できるよう、私たちを保ってください。

主よ、そのために私たちはここにいるのです。私たちは、聖霊のあの静かで小さな御声が、私たちの人生に語ってくださるのを聞きたいのです。主よ、私たちはそれを切望します。主よ、あなただけが満たせられることに私たちは飢え渴いています。私たちにはそれがが必要です。そして主よ、私たちはあなたが必要です。私たちは今すぐ、あなたが必要です。主よ、語ってくださいませんか？ あなたのしもべたちが聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日は、7 節の最初の 7 つの単語をタイトルとして借用しました。もうお分かりですね。しかし実際に、これが今日お話ししたいことです。もっと具体的には、万物の終わりが近いということ踏まえて、クリスチャンとしての私たちの姿勢をどうするべきか、です。ここで、使徒ペテロがこのように書いている文脈に再び焦点を合わさねばなりません。これを言うと、皆さん聞き飽きたと仰るかもしれませんが、理解すべきは、もしそれを理解せず、そのレンズを通して見ないなら、神がペテロに、この言葉をこれらクリスチャンたちに書かせられた理由を誤解してしまうからです。

彼らは極度の迫害の中にいました。極度の迫害とは、ありがたいことに私たちは、これまでクリスチャンとしての人生で経験したことの無いものですが、彼らは極度の迫害を受けていて、その極度の迫害がこの激しい苦しみをもたらしました。そして彼らは、非常に落胆しています。彼らは、とても落ち込んでいます。彼らの落胆は失望へと変わり、失望が絶望になりつつあります。そして、神はペテロにこれを書かせ、彼らを励まそうとされました。そして、いきなり7節、私は7節が大好きです。その理由はこうです。キーワード、「終わり」です。ある人がこう言ったのが大好きです。「聖書の中で好きな言葉は、"It came to pass (実現した/過ぎ去った)" "It came to stay (留まる)"ではない。」"The End /終わり"です。「終わりがあるんですか？」そうです。これが終わりです。あなたがたが、今ただ中にいることは知っています。あなたが苦勞しているのは知っています。傷ついているのも知っています。迫害されているのは知っています。あなたが、すべてを失っていることは知っています。それについては、後ほどお話します。しかし、それにも終わりが来ます。そして、それが終わるといっただけでなく、万物の終わりが近づきました。心を強くしなさい。心を強くしなさい。終わりはもうそこまで来ています。あともう少しで最終地点です。レースを走り終えます。勇敢に戦いなさい。ところで、興味深いことに、使徒パウロは生涯の最後に、テモテ宛てに書いています。

### 「私は勇敢に戦い抜きました。走るべき道のりを走り終えました。」(II テモテ 4:7)

彼がこうは言っていないことに留意ください。「私は上手にダンスを踊りました。」「私はかなり良い人生を送りました。」ではなく、「ここは戦場なのです。」遊び場でなく、戦場なのです。あ～願わくば、私たちが神の御言葉に耳を傾けますように。私たちは戦いの中にいます。そして、この戦いは、信仰の戦いでもあります。信仰の良い戦いです。それは走るべきレースであり、完走すべきレースです。ですからペテロは、彼らを励ましたいのです。そうすることで、彼は、私たちにもたらず点を、皆さんは、もっと多く見つけるかもしれませんが、私は4つ見つけました。大いに必要な注意喚起と呼ぶべきもので、おもに、私たちは、思い起こさねばいけませんよね。万物の終わりが近いということ。さて、それを踏まえてあなたがすべきことがこれです。これがあなたの対応になるべきです。あなたが傷ついているのは知っています。あなたが苦しんでいるのは知っています。しかし、これは、終わりに近づいていることを踏まえての対応です。あえて言うなら、終わりは非常に間近です。というわけで、これは、今日の私たちへの御言葉です。1つ目は7節にあります、

「心尽くし真剣に祈る」

理由があってこのような表現にしています。ここでペテロはまず、万物の終わりが近いという事実によって、私たちは皆、祈りに駆り立てられるべきだと語ります。それが、私たちが祈りへと駆り立てるはずだと。まさに、終わりの時の救い主について考えます。イエスは十字架にかけられようとしている、またそれを知っておられました。逮捕される前、弟子たちと共にゲツセマネの園におられました。イエスは、何をされましたか？ 祈りに行かれます。イエスは彼らに、何をしよう求められましたか？ 祈ること。祈りなさい。目を覚まして、祈りなさい。そして、イエスが戻って来られると、私自身気持ちが楽になるので、ある意味励みです。主は戻って来られご覧になります。—これは同じペテロですよ— ペテロは、何をしたいのでしょうか？ 祈っているのですか？ いいえ、彼は眠っています。イエスの口調は、決して厳しくありませんが、「あなた方は、一時間でも目を覚まして祈ることができないのですか？」(マタイ 26:40)

ペテロは、初めてじゃありません。あくまで私個人の考えですが、確信しています。ペテロには、睡眠障害

があったと思います。彼は寝ていることが多いですから。興味深くないですか？ 神がペテロに、書かされるのが、「目を覚まして祈ること。熱心に祈ること。祈りに真剣であること。注意深くあり続けること。」を。この「熱心」という言葉を覚えておいてください。後ほどお話します。でも祈りは、熱心に、心を整え、真剣に。私たちが注意深くあり続けるため。なぜか？ 私たちは終わりの時にいるからです。万物の終わりが近いからです。もし私たちが、祈りの人となるべき時があるとすれば、それは今です。かつてないほどに。イエスを必要とする人々のためへの祈り。このことについて、私は非常に罪を示されます。必要なのは、つまり、罪悪感を与え続ける贈り物だと言われています。牧師は、本当に得意なのです。私たちが、祈りの問題に関して、シャレにならないほど、人々に罪を示せますから。私自身も含めてです。一部の人が言うように、「祈り上げる」なんてことはないと思います。おそらく、皆さん、それを聞いたことがあると思います。それは絶え間ない祈りです。絶えず常に祈りの姿勢でいることです。一日中、毎日、一晩中、毎晩、あなたは神と常に意識的に交わられます。コミュニオン/聖餐=コミュニケーション 独り言ではなく、対話です。それが祈りです。私たちが神に語りかけ、神は答えてくださいます。間違いでなければ、今週の木曜日の礼拝、

**「わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答える。」 (エレミヤ 33:3)**

「ただ、わたしを呼べば答えます。わたしに電話しなさい。なぜ、彼らに電話するのですか？ わたしは、何時でも答えます。留守電にさえなりませんよ。」マジです。あなたは彼ら、彼女、彼を呼んで、主がこうしておられます。(手を挙げて振っておられる) ちなみに、彼らは、あなたを助けません。そのつもりはあるかもしれませんが、彼らはあなたを助きたいけど、助けられません。それどころか、彼らは事態を悪化させます。呼ばなきゃよかった、と思うことになります。「ただわたしを呼びなさい。わたしと話せますか？」それが祈りです。私たちが、祈りをとても複雑にしています。このことを、今日の残りの時間ずっと話せたらいいのに。私はただ... 私たちは、私たちが、祈りを複雑にしてきました。自らを危険にさらして... と付け加えるかもしれません。祈りとは、ただシンプルに神と語り合うことです。

私がしたことの一つ。これは少し前にシェアしたと思います。それが私の祈りの人生を大きく変えました。最初は難しかったのですが、天の御父を「ババ」と呼ぶようになりました。アラブ語で、パパ、アバ、お父さん、ダディ、父ちゃんです。それが私の祈りの生活の全てを変えました。私はもう二度と、形式的な牧師的祈り"我らの父よ..."には戻れません。何も悪くありませんが。しかし、私たちが、欽定訳聖書のような祈りを始めると、どうでしょう？ 私たちは、神が、欽定訳聖書の祈りだけを聞いておられると思いますか？ 最高の祈りは、涙の祈りです。言葉でさえもない。ただひたすら、主に向かって泣き叫ぶ。主は、あなたの叫びの声に耳を傾けてくださいます。そして、祈りは決して義務ではなく、特権です。親御さんとして考えてください。あなたの子どもや孫がやってきて、こうなら

「あ〜あ、話さないでね。終わらせよっと。」あなたはどうですか？「大丈夫。必要ないよ。」そういうことになりませんか？「そうじゃなく、わたしはあなたに望んで欲しいのです。あなたの最後の手段ではなく、最初の対応であってほしいのです。」あの夫婦を思い出します。妻が夫に言います。「あなた、私たちは祈る必要があるわ。」夫が答えます。「そんなに悪いのか？」それって悲しいです。そこまで酷くならないと祈らないってことでしょう？ なんとという特権でしょう。私は、この古い讃美歌が好きです。

「いつくしみ深き=♪ 私たちはイエスを友と出来るなんて♪」(日本語:ともなるイエスは)  
♪すべての事をイエスに祈れるなんて、なんとという特権でしょう♪ (日本語:こころのなげきをつつまず のべて)

♪ 私たちはなんと良く平安を失うのか ♪ (日本語：何と平静さを失うことか)

私たちは、祈らないと、平安を失います。私たちは、重荷や心配事、人生の事柄を背負います。主は、ただ待っておられます。

「わたしのところに来なさい。それを持って来なさい。わたしに話しなさい。わたしは答えたいのです。わたしはその答えを持っています。わたしがその答えです。わたしのところへ来なさい。」

では、次に進みます。8節、

2つ目は、「他者へ熱心な愛を持つ」

ペテロがここで私たちに勧めていることは、恐らく最も重要なことの1つでしょう。それはペテロが、「何よりもまず」という言葉を前置きすることが証明します。つまり、私が書くこのリストの一番上にあるのは、何よりもまず「愛」です。熱心に愛すること。互いに深く愛し合う。なぜか？なぜなら、試練を経験するとき、愛こそあらゆるものに勝り、多くの罪にさえ打ち勝てるからです。ところで、これはリトマス試験紙ですね。私たちがイエスの弟子だと人に知られる基準は、私たちの互いの愛ですよ。あなたが辛いとき、誰かがあなたを愛してくれたら、どんなにかけがえないでしょうか。どんなに励みになるでしょうか。あなたが一番必要とする時、ただあなたを愛してくれる誰かです。「もう大丈夫！」となれます。この "fervent/熱心に" という単語を説明します。英語に訳すと、なかなかその深い意味が解らない単語の1つです。原文では、ランナーと言う単語をもう一度使います。レースの走者です。走者たちがゴールを切る時、どう見つめているかという、すべての終わりに近づいているから。走者は、ゴールに向かって自分に残る全力を振りしぼってゴールに向かって走ります。残された力を、すべて注ぎ込みます。"fervent/熱心に" = 熱烈に。そういう状態を指す単語です。さて、それを愛するという文脈に置いてみましょう。私はそんな風に愛されたいです。それが本物です。ちなみに、間違えてはいけないのは、偽っても、人には見抜かれます。そう、その笑顔、あなた「絵文字」ですか？ 駐車場で子どもに怒鳴っている時のあなたの顔は違いましたよ。あの正面玄関を通ったときに全てが変わります。「主を褒め讃えます。」頼みますよ。それは果物みたいです。聖霊の実です。賜物の話で、果物ではありませんが、聖霊の実は愛です。実です。OK。誰かの家に入ると、果物の入ったバスケットがあったとします。おそらく、この説教壇から最前列くらいのサイズでしょうか。あなたはそれを見て、「まあ、本当に美味しそう。」そして、近づけば近づくほど、それがプラスチックだと気がつく。あなたは、騙されたような、侵害されたような気分になります。惑わしです。ここから見ると、「ああ、本物に見えたのに。」という感じです。近づいてみると、プラスチックだと気づく。「牧師さん、この話はどこへ向かうのですか？」

向かう先があります。ちょっと待って下さい。どこに向かうのか言います。プラスチック製のクリスチャンが多すぎると思います。ほら、言っちゃいました。私たちは非常に偽物です。熱心ではありません。互いに愛し合うのではなく、互いに誹謗中傷し合い批判し合っています。では3つ目に結びつくのが、9節にあります。

「不平を言わず、もてなし合う」私は、皆さん以上に「不平」という単語が嫌いです。実際牧師として、この言葉を使いません。私たちの語彙にはありません。そこで牧師は、"不平" という言葉を "嘆き" に置き換えます。その方が、ずっと霊的に聞こえますからね。

「ああ、私は嘆いている。おお、わお〜」「違う！不平を言っている！」不平を言っています。何に対して不平を言っているのでしょうか？ ええ、聞いてください。この(当時の)クリスチャンたちは、すべて

を失ったのです。仕事、事業、家、暮らし、家族を失い、彼らはすべてを失いました。キリストの体はどこにあるのか？ そんな時に、キリストにある兄弟姉妹が来て言ってほしい。「ねえ、部屋ならあるよ。フルーツがあるよ、プラスチックじゃないから。ここにある、本物だよ。食べる物、飲む水があるよ。」ヤコブ(2:16)が言ったように、罪を示されますが、ただ「温まりなさい。満腹になるまで食べなさい。いつか、ランチをしよう。」と言うだけでなく、「今日昼食が要るのです。」「今日助けてほしいのです。」どうやら、もてなしする人はいたようですが、彼らは正しい心で行っていたわけではありませんでした。それは、正しいことを間違った心で、正しいことを間違った方法で行う事です。彼らは家を開放していますが、不平満載で、「彼らはまだ出て行かないのか？」「なぜ、私の家を解放しなきゃいけない？なぜ、この先のあなたの家を開放しないの？どうなってるの？」それなら構わないでください。私を助けようとしているのですか？私は苦境に立たされています。(ワクチン)免除を拒否されました。失業しました。ともあれ、その点については以上です。どうすればいいのか？「来て。私が助けます。」なのに、不平を言っている。あなたはどう感じますか？もてなしの心を示してくれている人が、ずっと不平や不満、嘆いていると知ったら。して欲しくないと思うでしょう？私だったらすぐに出て行きます。ここで発言は気をつけた方が良いでしょうね。私だったら、むしろ屋上でパンくずを食べます。その言葉も使うべきじゃなかったでしょうね。でも、あなたがそうなら、ここで一緒にあなたとステーキ食べるよりずっとマシ。あなたがそうなら、あなたがそうなら、そうなら、そうなら。やっぱり上手く言えません。では、残りの時間は意図的に、10節と11節に使います。その理由は、すぐに分かると思います。ペテロがここで書いている聖霊の賜物を”用いる”=キーワードを、その最重要性をいくら強調しても、しすぎることはありません。あなたはこの賜物を与えられているのに、棚に置いたままで、埃が積もっています。あなたは、それらを用いる必要があります。「だからわたしは、その賜物を与えました。それをキリストの体のために用いなさい。」

またペテロは、語る賜物と、奉仕する賜物を区別していることに留意ください。このことについては、後ほど、もう少し詳しくお話しします。私たちは皆、唯一な賜物があります。「いえ、私には賜物はありません。」と仰いますけど、いいえ、あなたにはあります。誰しものが、少なくとも1つは持っています。もし信じられないなら、「福音書」に時間を費やした方が良いでしょう。私たちは皆、少なくとも1つ、才能があります。ええ、ええ、もっと多い人もいますね。何でもいいですけど。兄弟の誰それは、5つもあり、姉妹の誰それには、10個与えられている。どうなってるの？彼らは、その熱心さと忠実さに従って与えられました。あなたに1つあるのは、そのことに感謝すべきかもしれません。そのことがあなたに何かを物語っているかもしれません。言いすぎです？私もそれに罪を示されます。主人が戻られた時、主人が与えられたものに対して申し開きされるからです。「それをどう活用したのか？」「実は...私は、恐れました。」「え、そうなのか？」「で、わたしが与えた才能を、どうしたのか？」「埋めました。」「埋めたって？」これって、イエスらしくないですね。私だったらそう言ってしまいます。「何だって!?!」「なぜ、そんなことしたのだ？」「え〜と、その〜、どうすればいいか分からなくて、...」

だから最初から、1つしか貰えなかったのでしょうか。では、主人はどうするのでしょうか？

主人は、その一つを取り上げ、十あげた人に与えます。(マタイ 25:28 参照)

これ以上は話しませんので、福音書を読んで下さい。それよりもっとひどいことになります。(マタイ 25:30 参照)

誰しものが、少なくとも1つは与えられています。それをどう活用しますか？自分がどんな賜物を授か

っているか、分かりますか？ そしてそれは、聖霊の賜物が、こんにちのためにあるという健全な教義を理解していることが前提です。思うに…ああ。とても悲しいことです。強くは言えません。たぶん言えると思いますが、より良い言い方ではありませんが、とても悲しいのが、聖霊をかつてないほど必要をしている時代に、欺かれ、賜物が止まったと信じてしまったクリスチャンがいる事です。それは、すべての賜物は、初代教会のためだけのものであるという、終焉説という誤った教義です。いいえ、違います！！それは、こんにちのために、あなたのため、私のためです。聖霊の賜物です。「本当ですか？」ええ。忘れられないのは、私が若い信者、非常に若い信者だった頃、常に言われました。「異言は悪魔のものだ。」だから、そんなもの要らないと思ってました。ある朝私は、主にひれ伏して祈っていました。「主よ、、、」と祈ってました。すると突然、言葉で表現できなくなりました。神は私に、「祈りの言語」を与えてくださいました。私のクリスチャン生活は、もう二度と同じではありません。正直に言うと、一度だけあったんです。自慢できることではありませんが、愛情深く、親切で、穏やかで、物腰の柔らかい私が怒ったのです！！

「この賜物をずっと用いたのに、私自身になかったと言うのですか？」私は求めもしませんでした。これは、こんにちのためじゃないから求めるなど言われました。

で、今度は、自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからだと言われる。(ヤコブ 4:2) イエスについて考えます。お～私はその場にいたかったです。無理かもしれませんが、イエスは聖霊について教えておられます。イエスは、両親に焦点を合わせられます。ママ、パパ、父、地上の父親に。

「さあ、あなたがた。あなたがたは地上の親たちです。子どもたちに求められると、良い贈り物をしますよね。あなたの子どもが、魚が欲しいと言ったら、蛇をあげたりはしないでしょう？」

もしそうするなら、後であなたと話し、イエスの御名によって、按手して祈る必要があります。

「子どもたちにパンを欲しいと言われて、石を与えることはないでしょう。あなたがたが地上の父親として、自分の子どもたちに良い贈り物をするなら、

天の御父は、あなたが求めれば、どれほど多くの聖霊の賜物を与えてくださることでしょう。」

(以上 マタイ 7:9~11 参照)

この日、私は願い求め、そして受け取りました。お～初めてのことでした。「お～～～主よ～～！」止められませんでした。その年月のことを考えただけで、この賜物/贈り物は私のものです。クリスチャン生活の棚に埃をかぶったままになっています。最後に、ずっと長い間、その賜物を与えられていたのに。その賜物を用いる事ができたでしょうに。自分のためだけでなく、キリストの体を高めるために。そう、この時期になると、特に、まだここにいるのなら、いないことを願いますが、もしいるなら、私たちは人に贈り物をしますよね。毎年この時期に、私たちの前にある課題は何でしょう？ “使ってもらえる贈り物を用意したい” 贈り物のリサイクルは贈り物じゃありません。今は誰もが貰い物を回す時代ですからね 贈り物領収書とか…。あなたが返品しようとしているのは、分かっています。一番怖いのは、貰った贈り物をくれた人にあげ直してしまうことです。やっちゃった！って感じです。(笑)あるいは、人に回すのに、付いていた小さなメッセージの取り忘れ。「J.D.牧師とケリー、祝福を。」相手は、「いや、まさか！」という感じです。「その包みを再利用しただけで。」と言う。いいえ、そうではありません。貰ったものを人に回したんです。はい。OK。告白してすっきりしました。でも人に、本当に使ってもらえる贈り物をしたいですね。天の御父は、私たちが最も必要としている時、キリストの体のために用いれる贈り物を、どれほど与えたいと願っておられるでしょう。もし、私たちクリスチャンが

聖霊の賜物を用いる必要がある時があるなら、万物の終わりが近づいている今です。用いましょう。活用させましょう。棚から出し、埃を吹き飛ばしましょう。私は今すぐに使いたいです。私はあの知識の言葉を用います。私はあの英知の言葉を用います。私はその励ましの賜物を用います。私は人に与える賜物を用います。実際、これからは、覚えておいてください。これらは賜物/贈り物です。今言ったこと、そしてそれ以上が、贈り物です。私は、もてなしの心を用いたのに、その機会全てを失いました。では「ローマ人への手紙 12 章」6 節からです。あら？マズいですね、PowerPoint (メモ) が説教を早く終わらせたがっています。あまり個人的なことは言わない方がいいですね。笑わないでください。それって、、、はい。

ーローマ 12:6ー

私たちは、与えられた恵みにしたがって、異なる賜物を持っているので、それが預言であれば、その信仰に応じて預言し、

ーローマ 12:7ー

奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教え、

ーローマ 12:8aー

勧めをする人であれば勧め、

...この中のキーワードが分かりますか？ "～～させる"です あ"～さ"と言います。ご辛抱ください。キリストの体に聖霊、聖霊の賜物を用いないことによって、聖霊が悲しまれ、神が禁じておられる聖霊を消してしまう事で、重大な危険があります。勧めをする人であれば勧め、(励ます人であれば励まし、)

ーローマ 12:8bー

...分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は喜んでそれを行いなさい。

慈善は賜物ですよ。慈悲の贈り物です。願わくば、キリストの体に慈悲の賜物のある人々がもっといますように。ではよろしければ、ちょっと時間をください。どう賜物を用い、機能させるか、どう見えるかを説明したいと思います。娘のサビアを例に挙げます。事前に娘の許可を得ているので大丈夫です。娘のサビアが、私がコップ一杯の水を欲しいことに気づいたとします。今は要りませんから下さらないように。結局トイレに行きたくなるので、要りませんからね。でも娘は、私が水を欲しがっていることに気づいて、説教壇に水を持って来ます。しかし、靴紐がほどけていて、渡そうとした瞬間につまずき、転んでしまいます。OK。見ていてください。それを見ていた 7 人が説教壇前に駆けつけ、賜物を用い始めます。預言の賜物がある人は、こう言うでしょう。「サビア、将来は慎重になって、靴紐を結ばない事の危険性を予見しなさい。」奉仕の賜物のある人は、何も言いません。彼らはタオルを取ってきて、素早く片付けをします。お～私は奉仕の賜物があるしもべが大好きです。ちなみに、言う機会に良いのが、皆さんはそういう人たちです。ここは奉仕する教会です。ここは愛に満ちた教会です。私は皆さんをととても愛しています。皆さんは、牧師の働きを喜びと特権にして下さっています。悲しい事に、特に今の時代、そう本気で言える牧師は多くありません。それが私の本心で、主もそれを知っておられます。皆さん方はそういうしもべです。とにかく、7 人だけでなく、この教会の 300 人くらいが前に来て、後始末を始めます。そして幾人かは、何も言わないから、この人たちを本当に評価している人もいます。愛する人に何も言わず、ただひたすら片付けに忙しく追われる賜物があればいいのに、と思う人もいます。で、教える賜物のある人はこう言うでしょう。「サビア、靴紐のない靴を買ったほうが賢明かもしれないよ。」それが教える

賜物です。ー(笑)ー

励ます賜物のある人は、こう言うでしょう。「サビア、落ち込むことないよ。誰だって、つまずいて転ぶんだから。お嬢ちゃん、元気を出しなさい。」

はい、さっと言います。私は、励ましの賜物のある人から、背中を1回ポンと叩いてもらえば、私は1カ月くらいは大丈夫です。ただそばに来て言ってもらおう。「愛してるぜ〜。元気を出して。」お〜、イエー！もう大丈夫。ただ一度でいい。この後、あなたは私にタックルするでしょう。「牧師さん、元気を出してください！」はい。これで1ヶ月は元気です。それだけで。31日ではなく、1ヶ月、30日だけ元気です。で、分け与える賜物のある人、おお〜何をするでしょう？ その人はサビアのところに来て言います。

「サビア、50ドルだよ。今度、新しいマジックテープ式の靴を買いに行きなさい。」ー(笑)ー 指導する賜物がある人は、みんなをリードする人です。リーダーには人がついてきますよね。彼らはリーダーとしての模範、手本に従います。彼らは何も言わなくていいんです。「そう、私がリーダーだぞ！」とか。じゃあ、そのように行動しなさい。リーダーになりたいですか？ 従うべきものを見せなさい。私もそれに倣います。いいえ、リーダーというのは、人々が彼らのリードに従うときリーダーだと分かるのです。指導の賜物のあるリーダーは、サビアのところに来て言います。「サビア、代わりに蓋つきのボトルの水を持って来なさい。」そして最後に、慈悲の賜物のある人。お〜近づいてサビアを強く抱きしめこう言う。「大丈夫、あなたの気持ちは分かっている。恥ずかしくないよ。誰も怒ってないよ。私はあなたのためにここにいるんだから。」そしてハグ、マジックテープのハグをする。今、マジックテープの話だから。ー笑ーそれが慈悲の賜物です。「ヘブル人への手紙 10章 24-25節」で締めくくりたいと思います。実は今朝、準備と祈りの時間に、主が私にこの話をさせようと言われたのを感じました。特にこの2年余りの間、私たちが経験してきた全てを考えると、イエス・キリストの教会が、こんにち置かれている状況に大変当てはまると思うからです。読んでから解説します。ヘブル人への手紙の著者はこう言います。

ーヘブル 10 : 24ー

また、"愛と善行を促す"ために、互いに注意を払おうではありませんか。

ーヘブル 10 : 25ー

ある人たちの習慣に倣って自分たちの"集まり"をやめたりせず、...

( "集まり"→これ覚えておいて下さい)

...むしろ励まし合いましょう。その日が近づいていることが分かっているのですから、ますます励もうではありませんか。

なぜなら、万物の終わりが近づいたからです。一部の人がそうしたように、自分たちの集まりをやめるには最悪のタイミングです。それをすると、キリストの体や聖霊の賜物を奪ってしまうからです。この "集まり" という言葉を話しましょう。使う描写は、ある人から借用しました。最高です！ 今までで最高の描写だと思います。これはタイメックスの時計です。本当にタイメックスなんです。ちなみによろしければ、アマゾンで39.95ドルです。それで、(JD 時計を舐める)ええ、舐めると刻み続けます。年配の人しか知らないですね。若い人たち、気にしないでください。そう文字通りタイメックスです。これを説教壇の聖書の上に置きます。いいですね？ 描写の目的で、この時計の部品が全て揃っているとします。部品は集めました、組み立てていません。バンドも、文字盤も、あの複雑なバネも、大変小さな部品も全部揃っていて、ここにいます。ただ集めているだけで、組み立てられていません。それが何の役に立つでしょう？ 全部組み立ててみるとどうでしょう？ そう、これで話がまとまりました。組み立てると機



能し、使えます。それが私に奉仕します。私を助けてくれます。役に立たないのは、日曜の朝。役立たません。日曜の朝は、必ず決まった時間になると止まります。これが私の話で拘りです。そんな目で見ないでください。組み立てる。それが理由です。それがキリストの体としての私たちです。それが機能すると、機能不全に陥りません。あ～私たちはその言葉が好きですね。「お～私は機能不全の家庭で育ちました。」誰もが機能不全の家庭で育ったんですよ！ こういう言葉があります。衝撃的だと思いますけど、それを罪と呼びます。つまり、あなたは完璧な家庭で育ったのですか？ 手を挙げないでください。私だったらそんなことしません。私たちは皆、機能不全の家庭で育ちました。正しく機能しなかったのです。しかし、私たちがキリストの体として集まり、賜物と聖霊の御力によって、共に集うとき、すべてが機能し、うまくいきます。では、さっともう1つ、本当に簡単な描写を紹介します。お付き合いください。木に釘を打つとします。私がやってはいけないことです。私がどんな道具を持とうが、多くの損害と破壊をもたらすので犯罪です。でもこの釘を木に打ち込んでいると、なんとこんなことがあります。親指を叩いてしまう。おお～、めちゃくちゃ痛い！ どうなるのか？こうなります。親指にキスして、なだめて、よしよしする。「お～大丈夫？」親指に話しかけます。「大丈夫、きつと治る。痛かったでしょうに。痛いののは分かっているよ。大丈夫！」さすり、慰め、励まし、慈悲をかけます。健康に機能する体とはそういうものでしょうか？ 体の一部が痛むと、体全体がそれを感じます。そう、頭が痛くなると、足の指が言う。「頭、痛いのか？」「君はずっと下にいるじゃない。」共に組み立てられているからそう感じるんですよ？

#### 悲しむ者たちと共に悲しみ、喜んでいる者たちと共に喜ぶ。(ローマ 12:15)

ですから、想像してください。バカらしい話ですけど、要点は分かると思います。想像してください。親指をハンマーで叩くと、口が叫び出す。「何が問題なんだ～？ どうしたというんだ？ ちゃんと行動できないのか？」わお、愛はどこにある？ という感じですね。そして、もう片方の手も加わり始める。(その親指を叩く) バカな話ですけど、言いたいことはわかりますよね？ それは健康な体ではありません。体内の細胞が他の細胞を攻撃するとき、実はそのための単語もあります。何かわかりますか？ 癌です。攻撃し、噛み付いたり、貪り合ったりし始める。だから、使徒パウロはガラテヤの信徒宛てに言ったのです。

#### —ガラテヤ 5:15—

気をつけなさい。互いに、かみつき合ったり、食い合ったりしているなら、互いの間で滅ぼされてしまいます。

体内の霊的な癌のようなもので、それが広がっていきます。信者の体を破壊することになります。それが機能不全の話です。そうじゃなく、私たちが共に集まり、聖霊の賜物を使うのです。神はとてつご忠実なお方です。主は、適切な人に適切なタイミングで、適切な言葉を語ってくださいます。そして、それが自分のためであることを知るのです。私は、この場所の説教壇から対会衆席でなく、皆さんと皆さん/あなたとあなたの間でミニストリーが大好きです。ですから教会に来て、あなたが背負っているものを、主はご存知です。あなたは本当に傷ついていて、そして、キリストにある姉妹が近づいてきて、キリストにある姉妹としてあなたを励まします。彼女は何も知りません。聖霊がそれを心に置くのです。彼女はあなたのところに来て言います。

「なぜだか分からないけど、あなたのところに来てハグして、あなたの為に祈らねばならない気がしたの。」するとどうなります？ 泣き始めます。「どうしてわかったの？」わかりません。「誰かが呼んだの？」

いいえ。私はある人がこう言うのが好きです。

「それは私のためだ。誰かが電話した？ どうしてわかった？ 誰かから電話がありましたか？」いいえ、聖霊がすべてをご存知ですから。今、あなたは自分をさらけ出したので、もしかしたら、自分をさらけ出してしまって、いやいや、聖霊が正確にご存知です。主は心をご覧になります。私たちは外見しか見ません。また、私たちの外見はそもそもプラスチックであるのを忘れてはいけませんね。しかし、主はそれを見抜かれ、心をご覧になります。主はあなたをとて愛しておられますよ。このキリストの兄弟姉妹にあなたのために言葉をかけさせ、あなたを励まさせ、あなたを愛するために用いられます。こんな感じかもしれませんね。あなたは、1ヶ月を終える前に、お金を使い切ってしまいました。箴言(23:5)「富は必ず翼をつけて、鷲のように天へ飛んで行く。」バイバ~イ。毎月の給料と同じですよ？ そして、あなたは経済的に本当に大変な思いをしています。そしてキリストの兄弟姉妹がやってきて言う。

「主がこれをあなたに渡すようにと望んでおられるように感じる。」それが正にこう祈っていた「神様、私は支払うお金がありません。」その請求書と同じ金額を渡してくれます。今、払えます。それが機能するよう、用いるよう、与えられた賜物です。それを自分から奪おうというのですか？ 共に組み立てられるのを願いませんか？ 共に組み立てられることを放棄するのですか？ 賜物を使いたくないなら、どうですか？ 誰かがあなたを祝福したいと思うような聖霊の賜物を受け取る側になりたくない？ 私たちはプライバシーがあるから？ 安全で慎重であるのは悪いことではありません。

私たちは、蛇のよう賢く鳩のように素直でなければなりません。(マタイ 10:16)

人々は大変意地悪だからです。そのことをあえて、誰それには、知られないようにする。だって、あの人に知らせたら、SNSに投稿して、拡散されるから。ですから、注意深く、慎重に、賢く、慎重にならねばなりません。でも、相談したり、打ち明けたりできる人はいます。そして、その人にただこう言う。

「私は本当に困っているんです。私のために祈ってくれませんか？」私は今まで誰にも断られたことはありません。「いいえ！あなたのために祈りません！」とは。彼らはこの教会じゃなくて他の教会に行っています。なんと意地悪でしょう。それは、親指を叩いてしまって痛い思いをした後に、その親指を叩くことですよ。万物の終わりが近づきました。今こそ、教会として、キリストの体として、キリストにある兄弟姉妹として、これまで以上に大切な時です。考えてみてください。私たちは、あらゆる方面から攻撃を受けています。世、肉、悪魔、かつてないほどです。皆さんもそう思いますよね？ つまり、この終わりの時、霊的な戦いだけでも、桁外れです。

悪魔は自分の時が短いことを知っています。(黙示録 12:12)

結婚、家族、経済、全てにおいて十分大変ですが、世、肉、悪魔、そしてキリストにある兄弟姉妹も私に敵対するのですか？ 聞いてください。あなたが必要なんです。私たちは、キリストにある兄弟姉妹として、かつてないほどお互いが必要です。そして、ここで神が待っておられ、私たちに必要なものをすべて用意されています。そして、主は私たちが必要とする前に、その必要性を知っておられます。主は既にご用意しておられ、準備をして待っておられます。

「わたしはあなたにこれを贈りたい。これはわたしが選んだ船、その必要を満たすためわたしが定めた船・手段です。それがキリストの体です。共に集まり、互いに深く、熱心に、熱烈に愛し合い、不平を言わずに私たちが持っている全てで。それ自体で説教できます。ちなみに来週、来てくださいよ。私は言いますが、間違いなく来週、不平不満についてです。翻訳によりますが、陰口について。う”ー、醜い言葉ですね。殺人や性的不道徳と同じ節にあります。「ちょっと待って、同じ節？」はい、そうです。

「それが殺人や性的不道徳と同じリストに載るレベルなのですか？」そう信じたほうがいいです。とにかく、言いましたから、分かりましたね？ ですから来週来なかったら、私たちは分かりますよ。ええ分かります。あなたの恵みに感謝します。お立ちください。カポノ、上がってきてください。祈りで締めくくります。

愛する天のお父様。あなたのこの教会に感謝します。この終わりの時、この終わりの時間に、このような素晴らしい、”愛に”祈りに満ちた、奉仕する教会の牧師である特権を与えてくださったことを感謝します。お～主よ、傷つき、苦しんでいる人に、主よ、私たちが今日の箇所で見ただけをただきませんか。聖霊の賜物、聖霊の御力、聖霊の慰めを。主よ、あなたはすべての必要を知っておられ、私たちが必要とするものは何でも、あなたの愛の御手が必ず与えてくださいます。だから主よ、感謝します。特にこのような時にそのためにこの信者の体を選び、用いてくださることを感謝します。主よ、私たちはかつてないほどそれが重要です。主よ、終わりは非常に近いです。そして、物事は本当に、本当に恐ろしくなってきました。しかし、主よ、あなたはご忠実で、あなたは良いお方で、あなたは愛です。ですから主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7